

Advanced Building News



International Initiative for a Sustainable Built Environment

ABN 01, January 2004

International

Free sample

iiSBE および IFC メキシコ会議報告

10月下旬に、メキシコ、モントレレー市において iiSBE (International Initiative for a Sustainable Built Environment) の年次総会が開催された。また同時に GBC 参加国の 14ヶ国の代表者が出席する国際フレームワーク会議 (IFC) が開催された。今回の会議は、メキシコチームによって招致され、3日間の会議と半日のパブリックセミナーから構成され、モントレレー工科大学において開催された。

GBC の概要

IFC 技術会議では、GBC のフレームワークの大幅な変更が行われた。

GBC は、国際的な研究開発プロジェクトであり、12ヶ国が参加している iiSBE によって運営されている。

GBC の活動は、1996 年から行われており、建築物に関する新しい環境性能評価手法の開発を目的としている。GBC 参加国は、このプロセスにおいて開発された GBTool を用いて自国の建物に関するケーススタディーを行っている。

これまで GBTool およびケーススタディーの成果は、一連の国際会議 GBC '98 (カナダ、バンクーバー)、SB2000 (オランダ、マーストリヒト)、SB02 (ノルウェー、オスロ) において公表され、議論された。

次回の国際会議 SB05 は、東京において開催される。

GBC の方法論の改訂

GBC の評価法は、これまでのところ、既存の評価ツールのイギリスの BREEAM やアメリカの LEED と同様に、設計時の建物評価に重点が置かれている。一方 GBC の評価法の他の評価法と異なる部分は、国、地域の状況に応じて、ベンチマーク、そして重み係数の変更が可能であることである。この点は地域の状況に配慮した評価を行うという点で、適した評価法である。

GBC 参加国は、これまでの経緯から、建築物の運

用時の実際の性能を評価するモジュール追加を検討している。

さらに今回の会議では、重大な改訂が行われることが合意された。

システムを互換性のある二つのパートに分け、一つは、設計時における予測値に基づく評価を含む設計ガイドラインシステム、もう一つは、運用開始から 2 年以内に行う、実績値に基づく評価システムである。

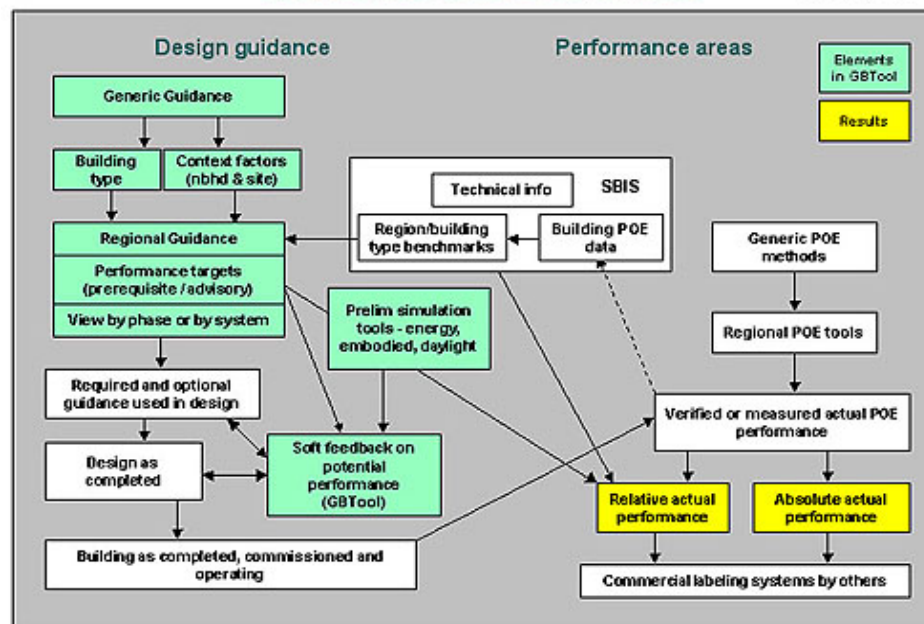
通常、実施設計時や施工時において、設計変更

等がやむを得ず発生することがあり、このため、設計時における評価で用いる予測値が不適切になる場合があることが指摘されている。新しく改訂される評価法ではこうした問題が改善されることが期待されている。この新しく変更されるシステムは、GBC の基本的な特徴である、地域性の考慮、地域の状況に応じたベンチマークに基づく相対的評価、そして絶対値に基づく評価など、これまで GBC が有していた基本的な特徴は、引き続き継承される。

iiSBE のスタッフが β 版を

GBTool 2004/2005 schematic

December, 2003



2004年の3月までに開発する予定である。

Nils Larsson larsson@iisbe.org

IHEIによる環境プロジェクトの開始

ブリュッセルにおいて、IHEI (the International Hotels Environmental Initiative) と ICELB (International Centre



Above: The IFC delegates
Below: Thinking hard about indicators



for Environmental Leadership in Business) により環境プロジェクトに関する会議が開催された。この会議にiisBE委員であるカナダのNeil Munroが出席した。

この会議は、様々な関係者による初期の会議であり、ホテル開発のための任意のサステナブル・ガイドライン構築のために開催された。参加者は、ホテル経営者、建築家、環境コンサルタント、国際機関などであった。

サステナブル・ガイドラインの概要は下記の通りである。

- サステナブル・ガイドラインは、現在ホテルが用いているマニュアルやガイドラインの内容を考慮する。
- ホテル業界によって幅広く活用されるために、最も適切で使い勝手のよい構成・形式を特定する。
- 新規のホテル計画時、設計時に優先すべき環境問題を特定する。
- コンサルタントグループと基本計画を検討する代表者を特定する。
- ヨーロッパコミッションプログラムによる関連する資金源を特定する。

今回の会議では、新規ホテル建設のためのガイドライン開発が合意された。

ガイドライン検討グループは、特別な建物の改修と増築、気候区分、沿岸地帯、山岳地帯、ホテルタイプの違いなど、個々の状況を考慮したモジュール形式からなる開発ガイドラインを検討する予定である。

ガイドライン開発のために各ホテルから強力なコミットメントがみられている。マリオットホテル、ヒルトンホテル、そしてインターコンチネンタルは、議論に積極的であり、サステナブル・デザインの方針に意欲的な姿勢であった。

ガイドラインのドラフト開発のプロジェクトタイムテーブルは、6ヶ月であり、2004年の夏を予定している。ガイドラインのテストのためのケーススタディー及び、ガイドラインレビューと改良のため、いくつかのプロジェクトのモニターリングが行われる予定であり、最終報告書は2005年の春に配布予定である。

Neil Munro, nmunro@ywarch.ca

SB04 地域会議

iisBEとCIBは、2004年に世界の6ヶ所においてサステナブル・ビルディングに関する地域会議が開催されることを発表した。

背景

1994年にGreen Buildingに関する初めての国際会議が、建築研究国際協議会 (CIB) の主催によりイギリスで開催された。この会議は引き続き1997年により大きなイベントとしてパリで開催されたが、その後少し形態を変え、Green Buildingチャレンジ (GBC) の活動と連携した会議として発展した。それ以降「サステナブル建築 (SB)」を会議名称に掲げ、GBCとCIB、およびその開催国との共催の形で順次開催されてきた。このシリーズの第一回は1998年にバンクーバーで開催され、2000年のSB2000 (マーストリヒト)、さらに2002年のSB02 (オスロ) と続いた。

現在では、この一連のSB国際会議は「サステナブル建築」の分野では最も権威ある国際イベン

トとなっている。このことは会議参加者が研究者、設計者、エンジニア、行政担当者、建設業者、メーカーや学生等と多岐にわたり、バンクーバー600余名、マーストリヒト800余名、さらにオスロでは1000余名という参加者数の増加が、そのことを示している。

CIBとiiSBEは、次回開催される国際会議が、2005年に東京で開催することを決定した。またiiSBEとCIBが計画する一連のサステナブル・ビルディング会議の計画にUNEPが参画することとなった。

発展途上地域への関心の高まりの必要性

マーストリヒト会議とオスロ会議の基調講演者は共に、地域の開発、熱帯地域と発展途上国におけるニーズへの関心の高まりが必要であることを強調した。

これらの状況を受けてSB05東京会議の主催者により、発展途上国からの学生、専門家などの参加者への資金的支援を行うことが提示された。

一連の国際会議の開催が2年ごとから、3年ごとの開催となったことにより、地域のニーズと開発をグローバルなレベルに引き出すことの可能性が出てきた。

これに基づき、SB05東京会議の1年前に、発展途上国において地域会議を開催することが決定された。

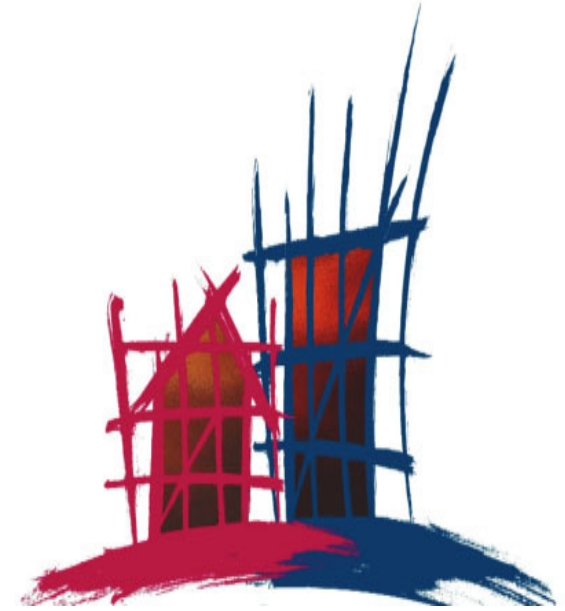
国際会議開催の1年先に地域会議を行うことによって、これらの地域において詳細なアクションプランを策定する期間を与えることになる。そしてSB05東京会議は、地域のアクションプランの支援に対する国際金融機関等の反応や多様なアイデ

ア交換を促進する場としての重要な役割を担うことになる。

地域における参加者の基本的な問題意識の向上のため、各地域会議では、トレーニングコースが設けられる。このトレーニングコースは、オランダのサステナブル・ビルディングセンターと地域の大学や研究機関と協力によって実行される予定である。

発展途上国と温暖気候の国々に焦点をあてることは、北半球もしくは先進国の問題から目をそらすことを意図しているのではなく、以下のことを実現することを目的としている。

- 地域内におけるサステナブル・ビルディングの問題への認識の向上。
- 地域ごとの地域に根ざした固有の情報の交換。
- サステナブル・ビルディングの国際会議において発展途上国、熱帯地方の国々の懸念事項へ大いなる関心を誘発。



SB'04

Region	Location	Date (04)	Website
Latin America	Sao Paulo, Brazil	18-21 July	http://www.clacs04.org
Africa	Stellenbosch, S.A.	13-18 Sep.	http://www.sustainablesettlement.co.za
China	Shanghai, China	27-29 Sep.	coming soon
Central/East Europe	Warsaw, Poland	27-29 Oct.	http://www.itb.pl/sb04Warsaw
Middle East	Eilat, Israel	November	coming soon
Southeast Asia	KL, Malaysia	6-8 December	coming soon

- 2005年のSB05世界会議では、これまでの国際会議に比べ、より包括的なビジョンを反映した内容・成果を導き出す。

SB2004地域会議の全体的な計画と開催は、CIB、iiSBE、UNEPにより支援されている。地域会議の主催者は、地域会議の実施の基本的役割と責任を担っている。各地域会議は、個々に特色のある会議になるが、主催者は、以下の同じ構成にのっとたものとなっている。このことにより、会議の成果は価値あるものなる。

2～3日のプレゼンテーションやワークショップに加え、各地域会議は、以下の内容から構成される。

- 各地域におけるサステナビルディングに関する、実践、技術、ツール、政策、法規制、スタンダードなどの予備的な研究や最新技術
- 地域における最も優れた実践に関する表彰式
- 各地域の活動の実践としてのSB05東京会議への成果としての会議後の出版物

地域会議で提案された計画、プロジェクトなどはSB05東京会議においてプレゼンテーションが行われ、SB05によって招待される国際金融機関によって審議されるであろう。

これら全ての会議に関する最新のニュースは、現在計画が進められている過程にある。

これらのことからもたらされるであろう結果は、これまでの試みと一貫性があると同時に地域ごとの固有の問題を反映させたものであり、サステナブル・ビルディングの探求のための世界的にみてもユニークな試みである。

Nils Larsson, larsson@iisbe.org

サステナブル・ビルディング情報システム (SBIS) の運用開始

iiSBEにより、サステナブル・ビルディング情報システムの運用が開始された。

本システムの目標は、世界各国のサステナブル・ビルディングに関する豊富な情報についてユーザーがアクセスし、情報を容易に得ることができるシステムを提供することである。またこのシステムが提供する情報は様々な言語に対応している。現在、本システムでは、世界各国のサステナブル・ビルディングに関する1,100の文献と220件の建物情報が提供されている。

SBISは、様々なユニークな側面を持っている。そしてCDバージョンとWEBバージョンでは内容が若干異なっている。CDバージョンで利用できる内容は、順次WEBバージョンに移植される予定である。

ユーザーは、本システムからサステナブル・ビルディングに関する多種多様な内容のPDFドキュメントをダウンロードすることができる。

- サステナブル・ビルディング情報システムの名称はiiSBEと関係ない名称となっている。これは、他の組織・団体が本システムの共同スポンサーになった場合、組織・団体が、システムの名称を気にせずを使用できることを考慮していることによる。iiSBEが実質的なSBISの正式な所有者であるが、共同スポンサーは、諮問委員会に参加することになり、このことはSBISに関して公然の権利を持つことを意味する。
- 品質保証は、本システムの基本的な部分である。ほとんどのドキュメントは、学術委員会によって審査された国際会議から収集したものであり、その品質は、保障されている。そ

他のドキュメントの場合も、大規模な組織による品質保証ではないが、同等レベルの審査を受ける予定である。

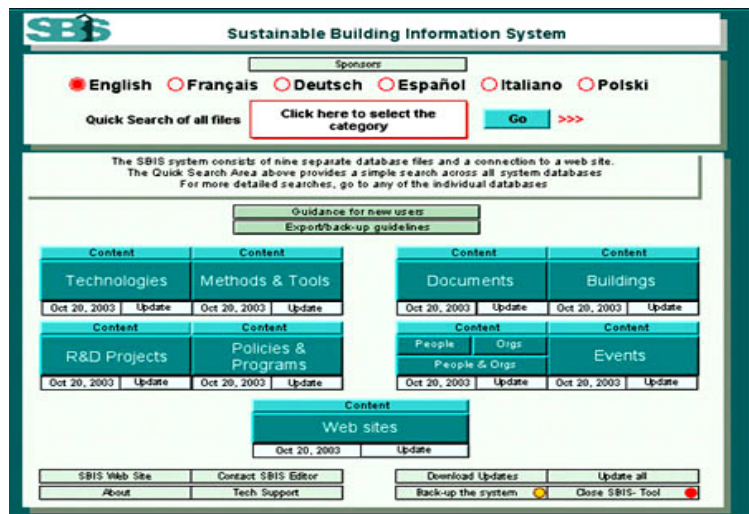
- CDバージョンは現在、英語とフランス語版が開発されており、その他の言語については順次開発される予定である。ユーザーによる自国の言語による資料の提出も奨励されている。WEBバージョン (<http://www.sbis.info>) は2003年の10月に運用が開始されている。

システムの基本開発は、Woytek Kujawski (Inpol Consulting) とAdrian Rossiにより行われた。システムの内容に関しては、Nils Larsson, Caroline Cheng, Kalum GalleKankanangeのiiSBEスタッフによって作成された。

本システム開発にあたって、これまで下記の主要機関により支援を受けた。

- NREL the U.S. National Renewable Energy Laboratory, and DOE, the U.S. Department of Energy;
- The Ministry of Land, Infrastructure and Transport of Japan
- The International Environmental Technology Centre of UNEP
- The Sustainable Energy Authority of Victoria (Australia).
- CETC, Natural Resources Canada, OEE, Natural Resources Canada and National Defence, Canada
- The Canadian Green Building Council.

Nils Larsson, larsson@iisbe.org



Above: Home page of the SBIS CD version

GBC 参加国の動向

チリ: 成功とその代価

Green Buildingに関する関心の高まりが急速なため、チリチームは、組織的な課題に直面している。チリチームは、これまでチリ国内において、サステナブルビルディングに関する道筋をたて、数多くの発表会を行ってきており、それらは成功している。一方こうしたことにより、数多くの助言、協力依頼が殺到し、組織の見直しをする必要が生じてきている状況にある。これまで、チリチームは、チリ建設協会 (the Camara de la Construcción) によって組織され活動が行われてきたが、今後チリチームは独立した組織を設立する予定となっている。

チリチームは、設計支援ソフトウェアを開発してきており、ほぼ完成状態にある。

公共建築のGreen Building化と大規模な展覧会が2010年に開催されることが、チリ建設協会とチリ公共事業省の合意に近づきつつある状況である。

チリ環境庁 (CONAMA) は、二つの建築プロジェクトに関してクリーン開発メカニズム (CDM) を適用する計画をたてている。このプロジェクトにはiiSBEも協力する予定となっている。

Norman Goijberg

goijberg@construccionsustentable.cl

メキシコ: 活動開始

メキシコチームは、GBCに新規加入チームである。その発足準備にあたっては、スペインチームから寄せられた助言が大きく役にたった。メキシコチームは、エンジニア協会および建築家協会とともに作業を行って。モンレーとメキシコシティの地理的に離れた二つの場所で、2つのグループが平行して活動を行っている。事務局は、メキシコシティにある建築家協会とモンレーにあるモンレー工科大学におかれている。メキシコチームは、GBTToolの導入またはGBTToolのトレーニングツールとしての利用を目指している。メキシコGreenBuilding協会は、別組織であり、GBCメキシコチームの活動に参加予定である。

モンレーで開催されたGBC-IFC会議は、メキシコチームによって主催され、参加者一同、その行き届いた準備に心から感謝している (編集者)。

Cesar Ulises Trevino

utrevino@avantel.net

ブラジル: アセスメントツールの開発

ブラジルGBCチームは、アセスメントシステム開発途中である。このアセスメントシステムは、Vanessa Gomes da Silvaチームリーダーの学位論文の一部でもある。関連してワークショップが開催され、インジケーターに関する議論が行われた。ブラジルチームは、2004年に開催されるSB04地域会議までにシステムの開発を完了させることを目指している。また、ここで開発されるシステムとGBTToolの両方を用いたパイロットスタディーを行い、評価システムの有効性の検証作業を行う予定である。このシステムは、政府、学術機関、専門家が参加するNGO組織によって運営される予定である。

Vanessa Gomes da Silva

vangomes@fec.unicamp.br

カナダ: CaGBC の発足

カナダGreen Building協会 (CaGBC) が、2003年に発足し、既に200の企業、組織が協会に加入し、活動を行っている。昨夏以降、加盟メンバーは急速に増大している。これはCaGBCがカナダ全土にわたり、LEED格付けシステムのトーレーニングワークショップを開催し、それらに関する関心の高まりが大きいことを表している。

CaGBCは、アメリカ以外の国で、ライセンス供与を初めて受け、カナダにおけるLEEDの導入に関して作業を行っている。2004年初頭には、USGBCおよびCaGBCメンバーにカナダでの導入の承認を受ける予定である。CaGBCは、LEED Canadaの登録、認定プロセス、トレーニングについての作業を行っている。

CaGBCのウェブサイト <http://www.cagbc.org>.

その他のシステムのGreen Globes とBREEAM GreenLeafなども、カナダ国内において、用いられている。カナダGBCチームは、おそらくSB05に向けたGBTToolの評価は行わないが、予算に応じて、LEED CanadaとGBTTool両方の評価作業を行う予定である。

Alex Zimmerman and Wayne Trusty

azimmerman@cagbc.org

wbtrusty@fox.nstn.ca

イスラエル

環境省は、テルアビブ建築センターにおけるGreen Buildingを含む常設展示物についての予算を拠出した。イスラエルチームは、専門家と学生を対象とする講習会を提供しており、これにサステナブルビルディングに関する講習会を追加した。GreenHorizonのウェブサイトがあり、ここには、多くの事例があり、700人のユーザーが登録している。またチームメンバーは、教育省とともにグリーンスクールガイドラインを発刊した。

イスラエルGBCチームは建設業者と政府間においてGreen Buildingを推進することを合意した。またチームの副リーダーのRon Leshemにより、グリーンコミュニティプロジェクトが行われている。またチームはGreen Buildingスタンダードを開発している。

イスラエルチームは、Eilatにおいて小規模のサステナブルビルディング会議開催の可能性を検討中である。所在地は、イスラエル、ヨルダン、エジプトの国境が交差する場所であり、そうした点で、この会議は多くの中東諸国からの参加者が期待される中東地域を代表する会議になることが期待される。政治的にデリケートな問題があることは確かであるが、イスラエルチームとiisBEは、恒久的な平和な状況がもたらされるのを待つには

時間がかかりすぎ、たとえ小さな会議でも、現実的に何かしら前向きにすることができるのではないかと考え、計画を検討している。

Yehuda Olander, ecolog1@raanana.muni.il

スペイン:精力的に活動実行中

スペインチームは、スペインにおける多くの産業分野と連携したラベリングツールの開発を行っている。チームは、政府、建築家協会、技術者協会、民間企業などから構成されている。

SB05会議に向けた活動は、重要事項に位置づけられている。SB05東京に向けてのケーススタディー建物の公募を行った後、普及・宣伝プロセスがスペイン建築家協会高等評議会 (CSCAE) および地域の協会との協同により行われた。

14物件が既に評価のために提出され、最終的に選考された建物についてはIEA Task 23で開発された"Multi-Criteria Decision Making-MCDM23"も用いて、評価を行い、結果を比較することを予定している。

第2期の活動成果は、

- 主要な環境性能評価ツールのレビュー：
 - EPBG-オーストラリア, OKOPROFILE-ノルウェー, LEED-アメリカ, GREEN LEAF-カナダ, ESC ALE-フランス, GBTTool-iisBE.
- 代表的な評価ツールで用いられているインジケータの比較
- スペイン版アセスメントツールに関するインジケータと構成の提案

スペインチームの活動は、次の4つから構成されており、順次実行されているところである。

- 第1段階：建築プロダクトデータベース (LC I - Life Cycle Inventory).
- 第2段階：建築プロダクトの環境申告 (EPD)
- 第3段階：建築プロダクトのライフサイクル分析 (LCA).
- 第4段階：建築物の環境負荷評価とソフトウェアツールの開発

またスペインチームは、GBC-IFC会議において、議題になっているインジケータに関心を持っており、この作業について精力的に分析作業、データ提供を行っている。

Javier Serra, jserra@mfom.es

本ニュースレターはサンプルですので、
ご自由に回覧して下さい。



wa

Action for Sustainability

The 2005 World Sustainable Building
Conference in Tokyo

SB05Tokyo

2005年9月27-29日

2005サステナブル建築世界会議東京大会
(略称: SB05Tokyo) 開催

iiSBEとCIBは、ここに東京においてサステナブル建築世界会議が開催されることを案内いたします。この世界会議は、持続可能な建築の実現や普及をめざす世界の研究者、実務家、企業、政府関係者、学生等が参加・運営し、最新の知見や試み、事例等に関して情報交換を行う国際会議です。

詳しい情報につきましては、下記サイトをご参照ください。<http://www.sb05.com>

編集者:

Nils Larsson larsson@iisbe.org

編集委員会:

Ilari Aho, Nigel Howard, Joel Ann Todd, Norman Goijberg,
Roger Wildt, Ronald Rovers and Andrea Moro

執筆者:

Argentina	Silvia de Schiller
Australia	Rein Jaaniste & Peter Graham
Austria	Susanne Geissler
Brazil	Vanessa Gomes da Silva
Canada	Wayne Trusty & Alex Zimmerman
Chile	Norman Goijberg
China	George Zhang
Finland	Ilari Aho
France	Sylviane Nibel & Serge Sidoroff
Germany	Gunter Lohnert
Hong Kong SAR	Stephen Lau & KS Wong
Israel	Yehuda Olander
Japan	Tatsuo Oka
Korea	Sang Dong Park
Mexico	Cesar Ulises Trevino
Netherlands	Ronald Rovers
Poland	Aleks Panek
South Africa	Chrisna du Plessis
Sweden	Trine Pettersen
UK	Bill Bordass
USA	Joel Ann Todd

日本語版翻訳者:

Nori & Akiko YOKOO

広告募集中。広告費用は次のサイズで100カナダドルです。

問い合わせは、下記までお願いします。

iiSBE at: adinfo@iisbe.org

ABNは、iiSBE会員向けサービスとなっております。

iiSBE会員登録料は、年会費75カナダドル、学生もしくは途上国の方の場合には、半額となっております。

問い合わせ、申し込みは、下記宛てまでお願いします。

memberships@iisbe.org

または

http://www.iisbe.org/iisbe/iisbe/iisBE_info_Jan04.pdf

